

第22回市民自治推進委員会 防災・環境部会会議録

(敬称略)

開催日時	令和2年9月2日(水) 18:00~19:30
開催場所	登別市民会館 2階 視聴覚室
出席者	(部会長)川島 芳治 (副部会長)和泉 薫 (部会員)丸 博子 (庁内委員)土門 和宏、篠原 知紀 (事務局)大越 智輝、佐々木 健、今野 沙弥 (関係職員)田中 弥寿雄(環境対策グループ)
欠席者	(部会員)遠藤 潤、村井 広勝
議題	部会長・副部会長の選出及び今後の取り組みについて

【部会長・副部会長の選出について】

- ・部会長は川島 芳治氏、副部会長は和泉 薫氏が選出された。

【避難訓練実施アンケートについて】

- ・今年2月、町内会を対象とした避難訓練実施アンケートを実施し、その集計結果を4月に実施した書面会議で部会員へお知らせした。
- ・部会員からは、結果を町内会へフィードバックすることの賛同を得られたため、各連合町内会及び各単位町内会等へ集計結果を送付した。
- ・有効な活用方法など、まだ議論できる余地はあるため、今後並行して議論することも検討する。

【今後の取り組みについて】

- ・今回からは、環境面の取り組みをメインで着手することとなり、どのようなことが問題となっているか話し合うこととなった。
- ・今回出た意見をもとに、次回以降も検討を進める。

(不法投棄・ポイ捨てについて出た意見)

- ごみ関連手数料が値上げすることによって、今後不法投棄が増えてくる可能性がある。
- 最近では車からのポイ捨ても目立つ。場所を決めてわざわざ捨てにくる人もいる。
- 市でも引き続きパトロールの実施や監視カメラの設置による抑止をはかっていく。市でも回収しているが、市民の方に率先してごみ拾いをやっていただければありがたいし、意識啓発をしていきたい。

(ごみの減量化について出た意見)

- 生ごみの水を切るだけでもごみを減らすことができる。家庭内の意識を変えていくことが必要。
- 最近資源回収量が減っているが、出すことによって町内会の利益にもなるし、減量化も進む。
- 食品トレーは店頭回収をしてくれているが、もっと取り組んでもらうために市でもスーパーと話をしている。
- リサイクルなどでごみを減らす方法もある。消費者協会で実施している繊維リサイクル、不用品ダイヤル市は良い取組である。
- 都心部にある無人のリサイクルステーションは、事業者から話を聞いたことはあるが、地方では採算が取れないため難しいという話であった。

【新型コロナウイルスに係る各団体等での取り組みについて】

- ・先日開催した正副部会長会議で、委員長から、新型コロナウイルスの関係で市民自治推進委員会としても何か取り組めることがないか提案があった。
- ・事務局では、部会員から各団体等で実施している対策や意見を聞きとり、取りまとめたものを推薦団体に伝えることを検討しており、今回聞き取りを行った。
- ある中学校では、授業が終わった後にボランティアが各教室、廊下などを除菌している。8月末までは地域ボランティア、9月からはPTAがやることになっている。
- 消費者協会では、子どもたちに約400個のマスクを作成した。
- 飛沫対策がされていない店や密になりそうな店に対してアドバイス等を行った。

【登別市まち・ひと・しごと創生総合戦略について】

- ・登別市まち・ひと・しごと創生総合戦略の1期計画の総括について、資料を近日中に送付する。

【登別市都市計画マスタープランについて】

- ・登別市都市計画マスタープランの改訂委員会に、市民自治推進委員会の代表で仲川委員長に参加していただいている。
- ・8月4日に第1回の会議があり、議事録を委員にも情報提供するように委員長から話があったため、近日中に送付する。何か気付いた点などがあれば連絡していただきたい。
- ・10月に2回目の会議が予定されているため、出た意見は仲川委員長を通し

て、改訂委員会の中で発言してもらおうことになっている。

【ぬくもり部会の取組について】

- ・ぬくもり部会では、児童虐待に向けた取組を協議しており、部会の中で、保健福祉部の職員を講師とした30分程度のセミナーを実施した。
- ・今後、ぬくもり部会員の推薦団体へそのような場を設けてもらえないか依頼をする予定であるが、ぬくもり部会長から、市民自治推進委員会全体の取組として実施できないか提案があった。今度の正副部会長会議でぬくもり部会長から皆さんへ話をさせていただく予定になっている。

【次回の開催について】

- ・未定。事務局から各部会員に日程を連絡する。